

# 8月25日(土) トラストトレイン 運転報告

今回の運転では、恒例となった第4回SL保存(親子)ボランティアを開催しました。子供たちが参加しやすいようにということで、大変暑い時期ではありますが、夏休み期間中行ないました。

参加者は12組31名も集まり、ふだん我々が行なっているボランティア作業を体験してもらいました。

以下、順を追って、当日の様相を紹介したいと思います。

## 1) 準備

いつもよりも早く9:00に集合してミーティング。「SL保存ボランティア」のタイムスケジュールの確認を行ない、担当者を決めました。



<プラザ・ロコでのミーティング>

さあ、準備開始と思ったが、客車の入れ替え作業が始まり、客車に入れたのは、10:00になってから。大慌てで客車班とC12蒸気機関車班に別れて準備作業(道具の準備、バケツの水くみ)を行ないました。時間的には、参加者が説明を受けている間があるので、次回からは10:00から準備開始でも問題ないと思います。

## 2) SL保存ボランティア

10:00~プラザ・ロコ会議室でボランティア作業について説明を受けた後、客車班とC12蒸気機関車班に別れて作業を行ないました。



<トラストトレインの説明をする財団の米山さん>



<作業説明を受ける参加者達>



<慣れないヘルメット お母さんにつけてもらいます>



C12の方は、谷口氏によって作業説明を実践を交えて行ないました。今回は暑い時期で上部はかなりの熱をもっており、我々は参加者がやけどしないようにと細心の注意を払いました。

プレート磨きはかなりの力がいり、また磨き方、磨く場所がわからないことから、それぞれの担当者のまわりに参加者に集まってもらい、参加者ひとりひとりに作業のやり方をていねいに教えました。



<作業内容を説明する谷口氏>



<子供たちに作業を教える酒井氏>

磨き方がわかると子供達は、力いっぱい磨き、ピカピカになったブ

レートを見て満足

そうでした。ヘッドマークの取りつけも参加者にやってもらいました。作業後は、運転席を見学、大井川鉄道の方に説明してもらいました。



<真剣に磨いています>



<メインのプレートは大人気>



<「ヘッドマークはこんなふうに取りついているのかあ」>



<運転席をみせてもらいました。>



客車の方は大阪の田中氏によって作業説明を行ないました。

(記事担当がSLから離れられなかったため写真がありません。すみません。)

参加者は、作業途中で客車班とC12蒸気機関車班と交代し、両方のボランティアを体験できました。 2